

第 17 回「認定 N P O 法人 日本ホルモンステーション」

通 常 総 会 議 案

「認定 N P O 法人」は、N P O 法人への寄附を促すことより、N P O 法人の活動を支援するための税制上の優遇処置として位置づけられた制度です。

私共の「認定 N P O 法人日本ホルモンステーション」は、その活動が社会から必要とされる基準 (P S T : パブリックサポート・テスト) をクリアーしているとして認定更新を昨年度、さらに 5 年受けることができました。

因みに、当法人の設立は平成 15 年 (2003 年) で、今回更新された認定有効期間は平成 31 年 (2019) 年 4 月 1 日～令和 6 (2024) 年 3 月末日です。

議案 1. 令和 1 年度事業報告 :

(1) 次世代の人材育成支援及び研究支援 :

- ① 「日本内分泌学会」若手研究奨励賞 (Y I A)
- ② 第 4 回「松尾賞」選考員会開催
- ③ 「第 10 回臨床医学研究塾」開催
- ④ 第 4 回「松尾賞」表彰式と受賞講演実施
- ⑤ 内分泌代謝学サマーセミナー「優秀ポスター賞」副賞支援
- ⑥ 「日本小児内分泌学会」の「内分泌学普及奨励賞」の副賞支援

(2) 一般市民に対する啓蒙 : 市民公開講座

高知市「第 29 回臨床内分泌代謝 Update」の折、2019 年 11 月 30 日 (土) 市民公開講座「ここが知りたい! ホルモンと代謝」に協賛予定でしたが、学会長のご意向で第 1 回「脂肪萎縮症候群研究会」をサテライトシンポジウムとして協賛した。

(3) 広報活動

- ① 年 2 回「日本ホルモンステーション News Letter」の発行
- ② ホームページへの更新

議案 2. 令和元年度収支決算及び監査報告：(資料 6～9 添付財務諸表参照)

(1) 収支：

- (1) 当期収支差額 ▲933 千円
- (2) 寄付金収入 16,639 千円 (30 年度 16,786 千円)
- (3) 当期支出 18,020 千円 (30 年度実績 20,021 千円)
- (4) 次期繰越金 5,117 千円

(2) 外部監査：

認定 NPO 法人として必要な監査報告書は公認会計士 土井 拓人氏により 2020 年 5 月 12 日に作成され、監事 佐野 安宏、土屋 裕弘両氏にて外部監査が書面にて実施された。(添付監査報告書参照)

議案 3. 令和 2 年度事業計画：

(1) 一般市民に対する啓蒙と助言

- ・2020 年 11 月 14 日(土) 東京京王プラザホテルで開催予定の「第 30 回臨床内分泌代謝 Update」時、「市民公開講座」協賛予定

(2) 患者と家族に対する医療相談

(3) 国際交流

(4) 次世代の人材育成及び研究支援

- ① 「日本内分泌学会」若手研究奨励賞 (YIA) の副賞支援
- ② 第 11 回「臨床医学研究塾」の開催
- ③ 第 5 回「松尾賞」の表彰式と受賞講演会
- ④ 内分泌代謝学サマーセミナーの「優秀ポスター賞」副賞支援
- ⑤ 「日本小児内分泌学会」の「内分泌学普及奨励賞」の副賞支援
- ⑥ 「第 2 回脂肪萎縮症候群研究会」の開催

(5) 情報発信

- ① 「日本ホルモンステーション News Letter」の年 2 回発行
- ② ホームページの維持

議案 4. 令和 2 年度予算：

(添付資料 10、令和元年度収支実績・令和 2 年度予算等参照)

収入見込み : 18,617 千円 (会費 500 千円、寄付 13,000 千円
前期繰越金 512 万円)

支出見込み : 15,272 千円(内事業費 : 11,000 千円 : 管理費 : 4272 千円)

次期収支差額 : △ 1772 千円

次期繰越見込み : 3,345 千円

議案 5. 理事、監事改選について：

現理事・監事の任期は2年で今年度は改選時期ではありませんが、理事退任願いがあつた塩野義製薬 塩野 元三氏は後任として推薦のあつた澤田 拓子氏に就任頂く事で、変更希望の1名以外の15名については留任をお願いしたい。

令和2年度の役員名簿は、添付資料 11 の通りです。

理事： (新任)	中尾 一和	京都大学名誉教授
	寒川 賢治	国立循環器病研究センター名誉研究所長
	久保井 一匡	元日本弁護士会会長
	澤田 拓子	塩野義製薬株式会社副社長
	清水 良	田辺三菱製薬株式会社執行役員
	山口 隆	あすか製薬株式会社社長
	森 昌朋	群馬大学名誉教授
	中山 謙治	第一三共株式会社会長
	岩崎 真人	武田薬品工業株式会社取締役
	櫻井 文昭	アステラス製薬株式会社執行役員
	小田切 斉	大日本住友製薬取締役
	持田 直幸	持田製薬株式会社社長
	青野 吉晃	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社社長
	松本 俊夫	徳島大学名誉教授
	小西 郁生	京都医療センター院長
小川 修	京都大学医学研究科教授	

監事	佐野 安宏	健康加齢医学振興財団理事
	土屋 裕弘	京都大学イノベーションキャピタル株式会社 取締役

その他：

- ① セカンドオピニオン診療
- ② 特別会員、評議員会員、一般会員数の増加を通じて「NPO の活動の輪」の拡大を今後とも行う。
- ③ 個人寄付受け入れについて幅広い活動を継続する

以上